

## 【磯子区】令和2年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和2年6月9日(火) 10時25分～11時00分
場 所	磯子区役所7階 701,702会議室
出席者	<p>【座 長】 山本 尚志 議員</p> <p>【議 員：2名】 加藤 広人 議員、関 勝則 議員</p> <p>【磯子区：25名】 猪俣 宏幸 区長、佐藤 友也 副区長、 新井 勉 福祉保健センター長、 石井 誠一 福祉保健センター担当部長、 大内 義則 磯子土木事務所長、 ほか関係職員</p>
議 題	議題 令和2年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等
発言の 要 旨	<p>関議員 ありがとうございます。2点ほどなのですが、まず1点は、今、副区長から御説明のあった中止・延期の予算執行のことですが、このあたりの考え方というのは、今後どのようになっていくのでしょうか。これからなのでしょうけれど、災害関係等にしっかり使って行こうなど、今後どのようにしていくという考え方はありますか。</p> <p>猪俣区長 新型コロナウイルス感染症防止のために、4月・5月に予定していた事業が中止や延期になっています。緊急事態宣言は解除されましたが、これからどういう状況になるか、動向はしっかり見極めていかなければいけないと思っています。今後の事業の進め方ですが、地域の皆さんにお会いできる機会が増えてくると思います。その機会に皆さんの声を丁寧にお聞きして、課題・ニーズを明らかにしながら、事業内容の再整理、再確認、変更、あるいは新たな取組の追加などを積極的かつ柔軟に、しかも予算も含めて弾力的に対応していかなければいけないと思っております。区民の皆さんと、また先生方からいただいた御意見を参考にしながら、しっかり取り組んでいかなければいけないと思っております。</p>

関議員 ありがとうございます。そのとおりだと思います。工夫をしながらということで、しっかりと事業の方は進めていただきたいと思っています。

先ほど区長が少し触れていた「これから地域の方々とお会いする機会が増えてくるだろう」ということについてです。御存じかと思いますが、各地域の納涼夏祭り等は、ほぼほぼ中止というような判断をせざるを得ない状況だと思います。おそらくこれからも、「防災訓練・拠点訓練はどうするのか」「様々なイベントの開催についてはどうなのか」などの話があるでしょう。我々は、市の対策本部に対して、「横浜市として地域の方が目安とできるようなものを作っておいた方が良いのではないか」ということを伝えていきます。おそらく国や県と変わらないのかもしれませんが、「イベントを実施する際にはこういったことが考えられる」などの情報については、市や区が地域の方々へ丁寧に説明していただきたいと思います。後ほど、関係部署にはお願いをいたします。

2点目なのですが、土木事務所長と副所長が代わられているので再度お話ししますが、実は、以前自転車の話をしています。21ページにある「大人への自転車マナー啓発」が新規事業になっていますが、この「マナー啓発」には、運転しているときだけでなく、駅前や繁華街での違法駐輪についても含まれているのだらうと私は思っています。それがまず伺いたいのと、前回の会議でも要望というか、意見を申し上げたのは根岸の駐輪場についてです。大雨が降ってくると、水がすごいらしいのです。もう一つ、前にも区民の方から要望をいただいたのは、京急杉田駅のプララのところです。土木事務所長はもうご覧になったかもしれませんが、違法駐輪がひどい状態です。場所として手狭なのはよくよく承知はしていますし、状況も特段厳しいとは伺ってはいますが、何か工夫して、自転車をきちんと駐輪できるスペースができないか、再度検討していただけないでしょうか。

大内土木事務所長 根岸・杉田の話は承知しております。杉田の件につきましては、セットバックしているところに放置というか、乗り捨てが多いと聞いております。現在はコロナの影響なのか、少し違法

駐輪が少なくなっているようなのですが、また増えてくると思いますので、関係各所とよく相談したいと思っています。これからの進め方などは先生にも御意見をいただきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

関議員 ぜひよろしく願いします。以上です。

加藤議員 それでは私の方からは、関先生と重複するところがありますが、意見を申し上げます。まず、今後は新しい生活様式の定着を進めていかなければなりませんので、頑張りましょう。  
先ほど、中止になった事業を御説明いただきましたが、ひとつだけ教えてください。健民祭はどうなるのですか。開催するのですか。

猪俣区長 健民祭については、地域の方々に中心となっていただいていますので、地域の御意見をしっかりと聞いていきます。この後も、磯子まつり等々、大きなイベントがありますが、どうするのか決めなければならないタイミングが徐々に近づいています。  
磯子まつりについては、6月18日に振興会が開催されますので、そこで皆さんに御議論をいただくことになっています。その議論の場には、地域の代表の方々、町内会、それからいろんな委員の方が入っていらっしゃいますし、区役所も入っています。その中で御議論いただいて、磯子まつりの方向性が決まると、健民祭も同じような動きになるかと思いますので、そこで皆さんがどのように判断されるかということが重要かと思っています。その際に、我々が現時点で申し上げられるのは、国や県、市はこういう状況ですというところです。また、新しい生活様式と合わせまして、イベント開催基準も順次出ております。この基準については、6月19日以降に時点更新がされて、変わってくるかもしれません。お祭り・野外フェスなどの基準も一応出ておりますけれども、特定の地域からの来場を見込んで、かつ人数が管理出来るものならばというような、なかなか厳しいものです。その辺りも踏まえながら皆さんに御議論いただいて開催が決まるという状況です

ので、はっきりとは申し上げられませんが、現時点ではそのような状況です。

加藤議員 先ほど目安・基準の話がありましたが、事業を中止にしてしまうというのは、一番楽な方法です。「なんとかできないのか」とまず考えて、そこから、「この部分だったらできる、こういう風にやればできる」という方向で議論を行うことが、非常に大事だと私は考えています。また、事業が中止となり予算が使えなくなった場合は、その都度他の事業でしっかりと使ってもらいたいと思います。例として、一つの着眼点をお話しします。これから子どもたちは夏休みを迎えますが、今、子どもや子どものいる家庭は、非常にストレスがたまっています。どこかへ旅行に行こうと思っていた人も出かけることができず、プールについては休業しており、楽しみにしていた海水浴にも行けない。それでは、一体どこに行ったらよいのかとそのような状況だと思います。ですから、区として何かそれに少しでも変わるものがないかということについて、知恵を出してもらいたいと思います。

また、私は区民の方から「どのような状況が良くないか」ということについて、よく尋ねられます。ですから、何かわかりやすい目安が必要だと感じています。その際は、「これはやってはいけない」という形ではなく、「これなら大丈夫」という形で示してもらいたいと思います。

さらに、今、大変なのは、子育てや介護です。私のところに相談に来るのは高齢者の方が多いのですが、高齢者の方は、集まってお話をしながら情報共有をしたり、自分の意見を言うことをとても楽しみにしていらっしゃいます。ところが、今は自宅から出られず、このままだと調子が悪くなりそうだという御相談もあります。区の行事というのは、区民の皆さんに公園などに集まってもらい、サービスを提供することが主体でしたが、これからはそうはいかないように感じています。子どもを持つ親御さんは、相談をしたいと思っても子どもを外に出すことが怖い。小さいお子さんのいるお母さんたちは、もうどうしていいのかわからない状態です。そしてテレビを見ると、コロナのことばかりが報道さ

れ、余計不安になってしまうという負の連鎖があります。ですから、新しいサービスの提供の仕方を考えていただきたいと思います。

加えて、今回常々思ったことなのですが、IT化が絶対に必要です。ITというのは非常に迅速ですし、正確な情報も手に入ります。大変かもしれませんが、今回をひとつのいいきっかけとして、IT化支援のようなことはできないでしょうか。例えば、高齢者の方や子どもたちへの支援や、子どもたちの中に格差が生まれないように機器を購入できない家庭への支援も考えられます。IT支援は民間企業や、外国でも進められているところですので、職員の方をお願いしたいことは、常に新しい時代の方向性を見据えるマインドを持って、日々の業務に取り組んでいただきたいということです。

それから、このような状況下であっても、職員のマインドやモチベーションは、どんどん上げていってほしいと思っています。状況が大きく変わってしまっているのに、いまひとつ元気が出ないような気がしていますが、逆に変化の時代だからこそ、今まで以上に元気がでるようなことを、これからやっていきましょう。これは幹部の皆さんにもお願いします。そして、コロナの関係で大変な職務についている方は肉体的・精神的に疲弊をしていると思いますので、ぜひフォローをしてもらいたいです。

最後にもう一つですが、子育て支援・介護支援をやっているNPOなどでは、電話相談などへの対応が増えているようです。区には、「なんでも相談」のようなものを設けて、対応してもらいたいと思っています。「話を聞いてもらうだけで、安心した」ということも多いので、よく考えていただきたいと思います。できればということなのですが、以上です。

猪俣区長 区役所の持つべき視点を御示唆いただきまして、本当にありがとうございます。地域の皆さんの声を聞きながらと先ほど申し上げましたが、それに加えて、新しい生活様式に合わせたサービスの提供方法、ないしITの発展などについても、検討の視野に入れながら対応してまいります。

また、職員のマインドやモチベーションについても御心配いただきまして、本当にありがとうございます。このような緊急事態に直面して、職員も不安な気持ちを少なからず抱えておりますが、みな使命感を持って職務にあたっております。引き続き、我々もしっかりと職員を支えながら、事業を進めていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

山本議員 今ほど関議員、加藤議員からもありましたことと、ほぼ共通です。今日、ここに広報よこはま磯子区版を持ってきました。先ほど区長からもあったように「地域の皆さまとともに作る笑顔あふれるまち・いそご」ということで、いろいろな方々が地域で御活躍されているわけですが、そういった方々の様々な行事・事業が、残念ながらコロナの影響で実施できない、あるいは見直さないといけないという状況が続いていますし、先々も見えない状況です。また、今月も区連会議があらうかと思いますが、磯子区は9地区でもって、それぞれが地域で様々な活動を進めていらっしゃいます。先ほど関議員からもありましたが、区民の皆さんはそういった活動を実施していいのか、いけないのかよくわからないので、区役所の皆さんの御意見やアドバイスを頼りにしています。ですから、先ほどの関議員からの御意見と重複しますが、目安などをしっかりと作っていただいて、やらないというよりもやる方向でのアドバイスや様々なサポートをしてもらいたいと思えます。

また、今年度も新しい方々が加わりまして、新しい磯子区役所がスタートしましたが、そういった方々が、コロナの関係で地域に伺えず、区民の皆さんにお顔を知っていただけていないという状況だと思えます。本来であれば、夏祭りなどが磯子区職員の活躍の場ですが、なかなか地域に出向けないため、忸怩たる思いをされていると思えます。そこで、ここはモチベーションを上げる意味で、区長が先頭に立って、区役所の皆さんで今まで以上に地域に出向いていただければと思えます。地域ごとの担当がいらっしゃると思えますので、地域に出張っていただいて、「何かお困りのことはございませんか？」と聞いてほしいのです。区役所の席に

座って待つのではなくて、皆さんから率先して地域に出ていただいて、「困りごとはありませんか？コロナのことだけでなく何でも結構です」とお聞きして、皆さんの顔と名前を知っていただき、そういったアクションをとっていただきたいと思います。課ごとや地域ごとに目標を立てて行うということでもいいと思いますので、ぜひそういった形で、私たちの暮らしのそばには磯子区役所の皆さんがいるのだということを知ってもらえるよう、お願いしたいと思います。

さらに、副区長から事業の中止などの説明がありましたけれど、今回御説明いただいた事業以外にも中止等があります。おそらく結果として、1億円の区づくり予算が使われないということだと思いますが、これは区民のためのお金ですから、ぜひ使い切っていただきたい。この令和2年度の区づくり予算の事業の説明の時にも私から申し上げたのですが、昨年度も全部使い切れていないということでした。これは全部使ってほしい。だから、事業が中止になっても、ほかの形で使ってほしい。先ほど加藤議員からもありましたけれど、IT化支援など、使えるものには全部使ってほしい。区配や区局連携予算であっても、それぞれの関係局に調整をして、磯子区の地域の皆さんが必要とするようなものために、その区づくり予算を全部使うという方向で、ぜひ進めていただきたいと思います。そこで、9月の区づくりの会議で大体の方向性を出してほしいと思うのですが、それはいかがでしょうか。

猪俣区長 いろいろと御質問いただき、ありがとうございます。地域になかなか行けていない状況につきましては、今回区連会があり、皆さまにお会いすることができます。一部には緊急事態宣言後にお邪魔したりしているところですが、今後、地域に足を運びながらお話を伺ったり、情報提供をしたりということ、今まで以上にきっちりやっていきたいと思います。

そして、予算の件でございますが、先ほど申し上げたとおり、事業の内容を工夫したり、新しいものを少し追加してでも、区民のためであればという基本の目的に添って、しっかりと予算を活用して、より一層区民の皆さんのためになるように進めていきたい

	<p>と思います。まさに弾力的にというようにしか今は申し上げられませんが、そのつもりではおりますので、先生方にも何かあればいろいろお伝えいただきたいと思っております。</p> <p>山本議員 コロナの状況もまだわかりませんから、全て出来るかどうかは別にしまして、一応9月を目安にしてもらいたい。「ここまでは出来なかった、これだけはどうも余りそうだ、ただこれはこういう形で使いたいんだ」という説明をしてもらいたいと思います。そのためには、地域のニーズ、あるいは私たち議員の声も聞いていただいて、それをしっかりと内容に反映させていく。そういったことを要望します。</p>
<p>備 考</p>	<p><u>その他</u> &lt;特になし&gt;</p>